



萩市須佐地域

公民館だより

令和6年

1月

第606号

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

集おう！学ぼう！
手をつなごう！

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

令和六年 元旦

今年もよろしくお願いたします

須佐公民館職員一同
弥富公民館職員一同



紙本墨画着色人物龍図（龍）萩市指定文化財（須佐歴史民俗資料館蔵）

明けまして
おめでとうございます



今月の話題

- 昨年の「子育て日誌」投稿者による
新年の抱負を一言・・・2P
- 須佐公民館学級研修：マツダ防府工場へ
さつき学級・あおば勉強室合同研修・・・3P
- 上三原の田植えばやしについて
「ぶらぶらタムラ」から・・・7P
- 110番通報について
「駐在さんコーナー」・・・8P

12月の花

「スイセン」



H25. 6月の生涯学習発表会絵
手紙の作品から

～花ことば～

全般的な花言葉は「自己愛(じこあい)」「うぬぼれ」です。黄色は「私のもとへ帰って」「もう一度愛してほしい」とギリシャ神話を由来とし、白色は生命力の強さから「神秘(しんぴ)」と言われます。

謹賀新年 辰年

令和6年にかける思い



年頭にあたり、今回は昨年公民館
だより「子育て支援日記」に、投稿
いただきました皆さんに再び登場し
ていただき、令和6年に掛ける抱負
を頂きました。

1月号

商工会青年部 林 和哉さん

『種まきの年に・・・』

今回の寄稿で「子ども達と地域を
繋ぐ」ことが自身の目標であると宣
言しました。私の思いも継承され、
やっとなができたように思います。
今後は子ども達の「知りたい」

「やりたい」「行っ
てみたい」などの意
欲を手助けし、地元
を愛する宝が育つ仕
組みを創れるよう動
いていきます。



2月号・8月号

育英小学校教頭 弘 恵子さん

『準備をする年に・・・』

退職まであと〇年。先輩から、
「退職後ではなく、少し前から準備
をしないとだめよ」と言われていま

3月号

市民窓口保健師 大賀陽世さん

『飛耳長目』

自分の視野を広げるために、まだ
行ったことのない国に行きたい。

4月号

ふるさとづくり協議会会長

石田憲雄さん

『子どもの声が聞こえる年に・・・』

来年は、子ども達が笑顔で元気な
声で、外でいっぱい遊べる年になれ
ばいいと思います。一人ひとりが、
自分の目標をしっかり持って、達成
できる年になればいいと思います。

5月号

元須佐地域ボランティア協議会

仁保逸朗さん

『やり抜く年にしたい・・・』

今年は、縁起よく甲子より始まり
ます。以前「現代語古事記」を買っ

6月号

須佐中学校長 山下恵美さん

『新しいことに挑戦する年に・・・』

「挑戦は自分を成長させる」これ
まで幾度となく生
徒に伝えてきまし
たが、自分が一番
できていないこと
に気がきました。
第2の人生のスタ
ートに向けて・・・



7月号

弥富郵便局長 白神 忍さん

『どんなことも諦めない年に・・・』

たくさん笑えるように、つまずく
ことがあっても、どんな時も諦めず、
幸せな一年にしたい。

9月号

須佐郵便局長 宮本智一さん

『チャレンジする年に・・・』

局長として須佐の地に常勤して早
いもので7年。8年目を迎え、今年
は笑顔あふれる末広がり
の年になるよう、新たな
ことにチャレンジしてい
く年にしていきたい。



10月号

須佐中学校PTA会長

中本健太郎さん

『時代の流れに沿って・・・』

運動不足で体がガチガチに硬いの
で、日々のストレッチと筋トレが出
来たらいいなあと思います。時代に
乗り遅れないようParkも使いこな
せるようになりたい・・・

11月号

須佐中学校教頭 佐藤雄吾さん

『体力維持!』

生徒たちに負けず体を鍛える。昨
年、初めて走った城下町マラソンの
自己記録更新をめざし、走り続ける。

12月号

須佐保育園長 高津喜代子さん

『心も体も元気な年に・・・』

めんどくさがり屋の私でも続けら
れそうなちよこつと運動、ちよこつ
とストレッチで、
怪我をしにくい身
体づくりを目指そ
うと思います。
(三日坊主になら
ないように・・・)



今年もみなさんにとって、
良い年でありますように・・・。

マツダ防府工場見学

須佐あおば勉強室
須佐さつき学級

合同視察研



工場内の様子をスクリーンで見る参加者

11月29日（水）、コロナウイルス感染症が5類に緩和され、久しぶりの地域外での視察研修が開催されました。今回は、参加条件として、公民館学級のあおば勉強室、さつき学級へ11月までにどちらかへ2回以上参加された方を優先としました。行き先は防府市で、午前中はマツダ株式会社防府工場への見学に行き

ました。マツダは、須佐地区にも関連の工場が備わっていることを知りました。はじめに、スクリーンを見ながら概要説明や従業員の働き方など、お客様に最高の車を作る意気込みなどを聞いた後、早速、工場内へ案内していただきました。

1台の車を作るのに、何工程もの作業があり、一人ひとりが自分の役割に誇りを持って取り組んでいるそうです。しかし、何かの拍子で作業する人の手が止まったりすると、ブザーが鳴ったり、全部の工程が止まってしまうこともあるそうです。

そうならないよう、ひとつの作業を真剣に取り組んでおられることで、お客さんも安心して乗られているんだということが分かりました。

この工場見学は、学校などを通じて、子ども達の見学が多いようで、日程もかなり詰んでおられるほど人気ようです。

午後は、みかん狩りをして、須佐歴史民俗資料館で「手塚猛昌生誕170年」に伴う『大時刻表展』を見学してから須佐公民館へ戻りました。

参加者からは、「マツダ工場の見学は楽しかった!」「また、こういう工場見学へ行きたいね」という声がありました。また来年、企画したいと考えていますので、皆さん是非お楽しみに…。

花びらの小物入れ作り

弥富物作り教室

11月27日（月）、弥富9区の齊藤洋子さんに講師をしていただき、令和5年度2回目の物作り教室を開催し、13名の参加がありました。

今回は、

折り紙や画用紙を使って、花びらの形をしたかわいい小物入れを作りました。まず、見本を見せていただいて、自分の好き



お隣さんと折り方を確認する参加者

作り方

- ① 折り筋をきちんと付けながら花びらの形に折る。（自分の好みで5個でも4個でも良い。）
- ② できあがった花びらを、ポンドを使って花の形に組み立てる。（ポンドを付けた部分は、洗濯バサミで固定しておく。）
- ③ バランスよくさせるために、出来上がった花の下の部分に丸の形の厚紙を付けてできあがり!

な色や柄の折り紙をそれぞれ選び、齊藤さんにご指導いただきながら作っていきましました。

それぞれ違った柄や色の「花びらの小物入れ」ができあがり、皆さん「かわいいのができたね」「何を入れて飾ろうか」と、嬉しそうにお話されていました。

先生から、「お客さんが来られたときに飴やお菓子を入れて出してもいいですよ」と使い方も教えていただき、皆さんがどのようにして飾られるかが楽しみです。次回も是非、ご参加ください。



花びらの折り方を齊藤さんから学ぶ参加者

地域トピックス

趣味を見つけて心豊かに…

第4回弥富地区作品展



11月22日（水）から12月22日（金）までの一か月間、弥富交流促進センター・多目的ホールで、「弥富地区作品展」を開催しました。

作品は、須佐保育園の園児・育英小学校の児童、須佐中学校の生徒の作品（弥富出身の園児・児童・生徒）と地域の皆さん39名が作られた作品、合わせて93点が展示されました。

子ども達の作品は、絵画・切り絵・ポスター・習字などで、地域の方の



子ども達の作品

作品は、ペーパークラフト・生花・塗り絵・貼り絵・手芸品・合成バツグ・壁掛け・ニット手編み・ベスト・セーター・カーディガンなどでした。作品展期間中、鑑賞に来られた54名の方に作品を見ていただいた後、



パッチワークも素敵！（大人の作品）

アンケートを書いて頂きました。その中で、「地域の皆様のご活躍、ご健勝の様子を伺い知ることができ、大変うれしく思いました。自分も趣味を見つけて人生を豊かにしたいと思えます」「編み物がお店の売るものレベルで驚きました」開催の初めの頃に来なかつたため、せつかくの花の時期を逃したようです」など、心温まるお言葉や励ましの言葉を多数いただきました。

一か月間ではありましたが、盛会裏に終了することができましたのも作品を出展いただいた皆さんのお陰です。本当にありがとうございます。今後、この作品展を継続していきたいと思っておりますので、ご協力の程、よろしくお願いたします。

「きれいな花を咲かせてね」

須佐放課後子ども教室

11月29日（水）、学校が終わった放課後教室の子ども達が、須佐文化センター前のプランターへ、ビオラや金魚草、ノースポールなどの春から夏にかけて咲く花の苗を植えました。プランターの数を増やしたので、植え替えも大変ですが、子ども達は、文句を言いながらも丁寧に苗を植えてくれました。寒い冬を越し、暖かくなれば、花盛りの庭になるでしょう…。それまで、放課後教室の皆さんで、管理の方も願っています。



春に花が咲くことを願いながら苗を植える子ども達

須佐駅前

イルミネーション点灯！



イルミネーションとシャボン玉で賑わう須佐駅前

12月9日（土）に、須佐駅前広場でイルミネーションが点灯されました。今年は、コロナウイルス感染症予防も緩和され、午後4時から「ヒーローショー」や点灯後には「シャボン玉ショー」、また、サンタさんから子ども達にクリスマスプレゼントが配られました。

いろいろなイベントショーに、多くの子ども達が早くから駅前に集まり、ツリーに飾りつけをする子どもたちの姿も見られました。

このイルミネーションは、1月3日まで点灯（夕方5時半～9時）され、写真を撮りに来る方も、たくさんおられました。

子育て支援日記 テーマ／昔の遊びを伝えよう！

遊びのあれこれ

育英小学校PTA会長 兒玉 浩



自分が子どもの頃に、何をして遊んでいたのか振り返ってみると、最初に思い出すのは『野球』です。

私が住んでいたところは住宅街（青葉台のような）で、ちょうど家の前に公園があったのですが、いつも近所の友達と野球をしていたのは住宅街の路地でした。友達の家が十字路の角にあり、外壁の角が十字路に対して斜めに立っていたため、バックネット代わりにちょうどよかったのです。また、その家のおじいさんがいつも審判をしてくれていました。始める時はいつも、上級生が下級生に、「今から〇〇で野球をするから、人を集めて」といった感じから、人を集めて」といった感じ

言われ、団地内を自転車で乗って声を掛けて回り人を集めていました。そして、人が集まりいざ野球を始めますが、



当然、住宅街の路地で行っているので、打った球や投げ損なったボールが周りの家の敷地に入っているのはそれを取りにいかねければならないということが頻繁

におこっていました。ただ、ボールは柔らかいゴム製の物を使っていたので、家の窓ガラスを割ることも、庭の鉢植えを壊すことはなかったと記憶しています。ドラえもんでもよくあるような、窓ガラスを割ってしまい雷親父に怒られるといった光景は幸いにもありませんでした。

次に思い出されるのは、『ミニ四駆』です。ミニ四駆は、15cm程度の電池で走る車の模型なのですが、最初は組み立てたものをただ走らせて遊ぶだけでしたが、雑誌にミニ四駆を題材にした漫画が掲載されるようになると、次第に人気が出て、模型



店に様々な改造用のアフターパーツが販売され、速さを競う大会も開催されるようになりました。

そのような中で、近所の模型店でもミニ四駆の大会が開催されることになり、自分も是非出場してみようと思い、大会にエントリーしました。大会に向けて、少しでも速いミニ四駆を作るため、改造

用パーツを買いたかったのですが、少ないお小遣いの中では難しかったため、自作で何とか改造してみることにしました。そこでミニ四



駆の軽量化を思いつき、親の工具を借り、車のシャーシなどに穴を開けるなどして自分なりに改造をしてみました。

ところが、いざ大会に挑むと、過度の軽量化が仇となり、車の強度が失われ、レース中に止まってしまったりアクシデントに見舞われ失格となってしまうしました。非常に悔しかったのですが、今となっては良い思い出の一つです。

今や、子どもが1人1台持っているゲーム機も、任天堂からファミリコンコンピュータが発売されたのが、私が小学校の低学年ぐらいの頃でした。その頃は、今ほど各家庭に普及しておらず、近所でも数名ほどしか持っ

ている友達がいませんでした。当然、我が家にも無かったため、持っている友達の家でたまに一緒に遊ばせてもらう程度でした。

それほどゲームで遊んでいた記憶はないのですが、その当時流行っていたスパルタンxやマリオブラザーズといったソフトが現在も中古販売店に陳列されているのを見ると、非常に懐かしく当時の記憶がよみがえるものです。

この他にも、コマ回し、フットボール、缶蹴り、空き地での基地作りなど、色々なことをして遊んでいましたが、どちらかというと外での遊びが多かったような気がします。

現在の子供も達は、外での遊びより、各家庭においてゲームの世界を通じて友達と一緒に遊ぶなど家の中の遊びが多いようですが、今や、ゲームも国際大会が開催されるなどeスポーツとしてその地位が確立されています。

20年後、30年後に、どのような遊びが主流になっていくのかと思うと、今から楽しみです。





旧須佐町中央公民館

24 時間図書館開館を目指し

図書館工事と合わせて、24時間システムの開発と、今から思えば馬鹿げたことをよくも挑戦したなとつくづく感じます。

一方こんな夢のような構想を投げかけられた準備委員会の皆さんにとつては大変なことだと感じていますが、会議の中では、未知への架空体験の一つ一つを問題として取り上げていきました。

例えば、「夜間に入館した時の電気は点け放しなのか?」「いいえ、入館したら30分ほど電気が点き、30分すると消えます、しかし延長ボタンを押すと30分追加できます」といった具合。しかし、これを実施するために、電気業者との打ち合わせが必須でした。また、図書館に入館した時、トイレに行きたくなったらどうするの?といった生理的な問題も事細か

く議論されました。

自ら蒔いた種とはいえ、本当に自分にできるのかという不安ばかりが日増しに高まりました。そんな折り、いつも背中を押して頂いたのが、T教育長でした。「誰もやらないことをやるのだから、失敗は当然あるかもしれない、でもやらなければ住民の夢は叶わない、もし出来なかつたら2人で腹を切ればいい」と、励ましなのか、命令なのかよく分からないまま気持ち切り替えたことを覚えています。その時、自分の気を引き締めるために、私は坊主頭になりました。それ以後坊主頭が私のトレードマークとなりました。

24 時間図書館への壁

図書館を造るといふ話は、巷に広まり、各OAメーカーがひっきりなしに公民館に来館、その数同一メーカーを併せても10数社。机の上には、

図書館システム（まだ数は少なかつた）のカタログが積み上げられていました。

しかし、日にちが経つにつれ、あれだけ公民館に来館していた業者の数も減り、夢のような図書館の構想では採算がとれないということなのか、無駄なことに労力を使わないという会社の方針なのか分かりませんが、実際にはシステムを構築しないと、24時間図書館は開館できないこととなります。

遅れて来たメーカー

大手メーカーから遅れること2ヶ月後山口市のY社が公民館に来館。大手メーカーにちやほやされていたこともあり、まさに高飛車的な対応をしてしまったことを覚えています。

今から思えば、遅れて来たとはいえ、Y社の対応がなければ24時間図書館の構想は実現していませんでした。Y社の対応は、零細企業だけに、大手メーカーとは違い、どんな些細な事でも丁寧に対応できるという強みがありました。

一方大半メーカーが徐々に手を引いた中、Y社への対応は、より慎重を期し、ある時には、叱つたりなだめた

りの対応となりました。本当に、ここまでもシステムの構築をよくやったものだと思っています。

特に、夜間入り口のシステムの開発については、ホテルの入退室のシステムを利用できないかとの当方からの提案を具現化しました。



公民館に仮設された夜間監視システムの実験

また、入退室のカードと図書貸出カードの一本化は、カードメーカーとの連携により完成。

一方、一番入館者が利用する、自動貸出し装置は、事前に本に装備された磁気タグの読み取りで貸出しができるシステムです。こうして、徐々に形になって行きました。

タムラの

まち歩き



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶらタムラ』が、わが町を紹介します。今回は、10月16日（木）京都市京都市民会館において、令和5年度地域文化功労者表彰として、山口県無形民俗文化財「上三原の田植えばやし保存会」が文部科学大臣から表彰されました、上三原の田植えばやしについて、せつかくの機会でありますので紹介したいと思います。

山口県無形民俗文化財指定 上三原の田植えばやし

上三原集落は、国道315号線から堀田集落に向かう途中にある農村集落です。

上三原集落は、かつては、阿武郡6郷の一つ大原郷と称される穀倉地帯の一角にある、農村の先進地として栄えた地域です。この集落は、今から38年前頃には、33世帯126人が住んでいましたが過疎化の波に

のまれ、現在19世帯44人となりました。この上三原集落に古くから、田植え時に付属する「田植えばやし」という民俗芸能が伝わっています。



田植えばやし披露の様子（昭和60年）

その起源は明らかではありませんが、今から423年前頃の慶長5年（1600）年に起きた関ヶ原の戦いで、敗れた西軍毛利氏は中国八ヶ州（120万石）から防長二州（36万石）に移封（いほう）された毛利氏と進退を伴にしていた益田氏が石見益田（現島根県益田市）の居を捨て長州須佐の地に居を移したとき、益田氏に同行してきた農民達が須佐の地に伝えたものではないかと言われています。

この踊りは、当地域の小作人たちが、地主の田植を行なう際に、豊作を祈願して踊ったもので、秋の祭礼には、その初穂を地域の氏神様に供えたと言われています。途中時代の変化により一時期中断されましたが、明治の時代に氏神様の神穀田の植え付けの際の舞いとして復活し、現在に受け継がれています。

しかし、今時では田植えの時期に合わせることは、ほとんど見ることはなく、地域内外での催し場に出演され、上三原の伝統民俗芸能の一つとして、広く披露公開されています。

この地に古くから伝わる「上三原の田植えばやし」の踊りを伝統民俗芸能として、保存継承するために、昭和46年これに関する保存会を組織して、この踊りの現況を崩すことなく後世に伝えて行く役割が果たされています。そして、昭和48年には、山口県無形文化財として指定され現在に至っています。

田植えばやしの構成

保存会の皆さんが、それぞれの役割の中で、華やかな衣装を身に付け、太鼓や鐘の音に合わせて拍子木と音頭取りの指導、それに高らかな田

植え唄の唄声にのり、手捌きのよい演舞は、田圃一帯に賑やかな音を響かせ、その姿は目を見張るものがあります。



音頭取り・早乙女の衣装

この演舞に持ち入れられる囃子（はやし）の種類は、「綾（あや）」と称する道行き囃子と、玉ごし、さねくり、打上げの上調子の三種、合わせて四種類の囃子方があります。このうち、道行き（圃場に行くまでの行進）の綾と最後の打ち上げは「ユリ唄」です。

ここで使われている楽器は、大胴・シメ胴・拍子木（カチ）、合鉦（みはち）の四種類が使われます。

（つづく）

須佐地域の安全・安心なまちづくりを応援する！

わがまちの駐在さん

新 衛ちゃん、繁ちゃんが行く！



師走は、誰もが年の瀬をひかえて、何かと気忙しく慌ただしくなる時期です。安らかな気持ちで、明るく平穏な年末年始を迎えたいものです。

そこで、交通事故防止、犯罪被害防止等についてお話しします。

須佐駐在所：衛藤豊文 【110番のしくみ】

110当番は、事件・事故を通報するための緊急ダイヤルです。

「事故を起こした、目撃した」、「事件の被害に遭った、目撃した」場合は、固定電話からでも、110番通報をしてください。

110番通報は、警察官がいち早く現場に赴くための一番の通報方法です。

●110番のしくみは、次のとおりです。

- ①起きた・遭った・目撃した、その現場から110番通報する。
- ②110番通報すると、山口市にある県警本部通信指令室につながります。
- ③担当の警察官が必要事項を聴取します。
- ④聴取しながら、別の警察官が無線機により、警察署などに指令を出します。
- ⑤この無線通話は、警察官だけでなく、無線機を携帯している警察官や無線機を積載しているパトカーなどにも伝達されます。
- ⑥110番指令を無線機で傍受した警察官やパトカーは、その指令を聞いた場所から、通報現場などに急行します。（警察官やパトカーの現在地から最短距離まで現場に赴くため、より早く現場に到着することができます。）



弥富駐在所：繁田京祐 【110番通報のポイント】

正しい110番利用のためのポイントを説明します。

110番通報をすると、担当の警察官が対応し、まずは、「事件ですか。事故ですか」と訪ねてきます。あらかじめ、何をどのように伝えようかなどと考える必要はありません。

○次の事項を順次尋ねますので、落ち着いてかければ大丈夫です。

- ①何があったか（交通事故・泥棒など）
- ②いつあったか（何時頃）
- ③どこであったか（町名・番地や目立つ建物）
- ④犯人は（性別・年齢・身長体格・服装・逃走方向・車のナンバー）
- ⑤今どうなっているか（被害の状況・事故の様子）
- ⑥住所・氏名・電話番号（事件・事故との関係など）

○事件・事故など緊急は「110番」ですが、あわてない相談は「#9110（相談専用電話）」に電話してください。

また、110番通報になじまないものについては、

「落とし物」、「運転免許の更新」、「過去にあった交通事故の相談」などが該当し、萩警察署または江崎幹部交番にお問い合わせください。

○「110番映像通報システム」を運用中

110番通報の際、通報を受けている警察官から、スマートフォンなどにより、事件・事故の画像や映像の送信をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いします。



ゆく年



くる年



「公民館だより」で振り返る一年…



昨年は、コロナウイルス感染症予防も緩和され、いろいろな行事やイベント等もできるようになり、少しずつ地域に活気が出てきたように思います。また、住民の皆さんの元気な笑顔が見れるようになりました。

さて、皆さんが昨年、印象に残っている出来事は何でしょうか。ここでは、令和5年の「公民館だより」の記事の中から、一年間を振り返ってみますので、是非ご覧ください。

●風雪の中、みことマラソン大会！

全行程で雪が降ったりやんだり、選手にとっては辛いマラソンとなりましたが、楽しいエピソード満載のマラソンでもあった。



寒さに負けずに走る子ども達

(R5. 1月号)

★「須佐地域公民館だより」が

2度目の金賞受賞！

隔年で行われている全国公民館報コンクール（第9回）において、令和2年度に引き続き、最高賞の金賞を受賞した。

(R5. 2月号)

★「公民館だより」発行50年！

昭和48年5月に第1号が発行されてから50年。公民館だよりに携わってこられた歴代の編集者、また、住民の皆さんに感謝！

(R5. 3月号)

●益田家歴代系譜碑建立

4月12日、益田家当主ご夫妻出席のもと、益田家墓所の参道脇に建立された、益田家歴代系譜碑の除幕式が行われた。また、高台にある益田家墓所までの参道の一部には手すりも設置された。

(R5. 5月号)



系譜碑を背に益田家当主夫妻記念撮影

●第32回生涯学習発表会

コロナ解禁で多くの来館者！

6月11日コロナ禍で出来なかった30周年記念公演を岡本京太郎さんを迎えて開催された。ゲストには、萩の歌姫秋山紗希さん。会場は大いに沸いた。



岡本さんと秋山さんのコラボ

6月10日から12日の3日間には、須佐公民館で作品発表も開催され、大勢の方が鑑賞にいられた。

(R5. 6月号)

●須佐中学校2年生が

須佐地域内で1年ぶりの職場体験！

7月11日、6名の生徒が須佐保育園、須佐図書館、須佐自動車、育英小学校、エコロジーキャンプ場、須佐公民館で、それぞれ職場体験を行い、仕事の大変さを経験した。

(R5. 8月号)

●豪雨被害から10年…放課後子ども

教室が防災キャンプを実施！

2回目となった今年は、須佐地域の津波のことや防災グッズについて学んだ。高校生3名がボランティアとして参加した。

(R5. 10月号)

●「敬老の日」

53名が敬老会へ元気に出席！

9月18日、須佐地区・弥富地区合同の敬老会が4年ぶりに開催された。田中文夫萩市長も出席され、お祝いの言葉を述べた。

(R5. 10月号)

●時刻表の父

「手塚猛昌生誕170年

記念展示オープン！」

須佐出身で、日本で初めて「汽船旅行案内」を発行した手塚猛昌の活躍や功績を須佐歴史民俗資料館「みこと館」で約2ヶ月間展示し、多くの方が来館された。

(R5. 11月号)



興味深そうに見学する来館者

●上三原田植えばやし保存会が

文部科学大臣賞表彰に輝く！

昭和46年に発足し、昭和47年（旧須佐町）に無形文化財に、昭和51年には山口県無形文化財に指定。発足されてから今日まで、地域で伝承され続け、芸能の保存・継承に努めてこられた。

(R5. 12月号)



年明けの1月は、新しい年の野菜づくりの計画を立てましょう。

野菜づくりの基礎・ポイント

○連作に注意する

同じ野菜を同じ場所で栽培すると生育障害(連作障害)を発生します。

特に発生しやすい野菜

- ・マメ科(エンドウ、ソラマメ、インゲン等)
- ・ナス科(ナス、トマト、ピーマン、ジャガイモ等)
- ・キク科(ゴボウ) ・サトイモ科(サトイモ)
- ・ウリ科(キュウリ、スイカ等)

連作障害対策

① 輪作をする(右図)

畑全体を4つの区画に分けて4年間に一度同一の野菜をつくるようにローテーションをつくり輪作します。

② 畑の土作りをする。深く耕し有機物(堆肥等)を入れる。

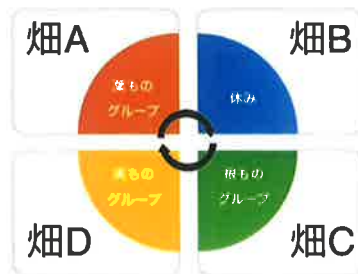
また石灰や苦土等の土壌改剤を入れる。

③ 接木苗を使用する。ナス、トマト、キュウリなどは病気に抵抗性のある台木に接木した苗を使うと被害が軽減できます。

④ 前作の株や根、茎、葉などを畑から取り除く。

○栽培する時期に合った野菜の種類や品種を選ぶ、安定した栽培をするためには、気温や日照条件、土壌条件等環境条件に合った種類や品種を選ぶことが大切です。

畑のローテーション



○品種選びのポイント

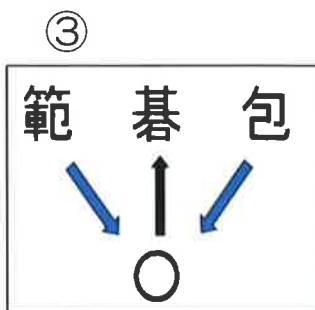
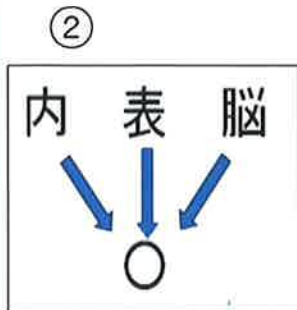
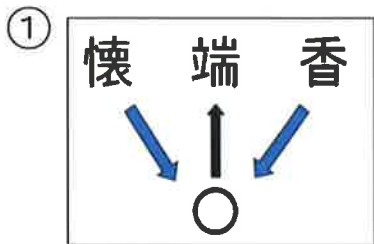
- ・購入タネ袋を必ず読むこと
- ・病害虫に対する対応力(抵抗性)を知る。
- ・作りやすさ(寒さや暑さの対応力、発芽力や生育の状況とう立ちの具合、収穫量等々)
- ・栽培方法(まき時期、収穫時期、施肥、用水、病害虫対策、各種管理等)
- ・食味(最終的な品質や味)
- ・品種の特性を十分りかいして導入を決定しましょう。



▲タネ袋の注意書き

漢字クイズ ?

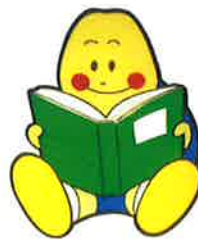
次の①~③の図の、「○」に当てはまる漢字を入れてください。その後、「○」に当てはめた3つの漢字を並べ替えてできる、3字熟語は何でしょうか。(答えは、最終ページ)



「まな坊」のちよつと一言

久しぶりです。今回は、1月の暦から「大寒(だいかん)」について少しお話ししたいと思います。

「大寒」という言葉は聞いたことがあると思いますが、字のごとくとつても寒いイメージがあります。実はその通りで、一番寒い時期となります。季節的にも「三寒四温(さんかんしおん)」が現れ始めるころです。「三寒四温」とは、3日寒い日が続くと、4日暖かい日があるという意味です。そのため、ずっと寒かった小寒より



今年2024年の大寒の日は、1月20日(土)から2月3日(土)の立春の前日までとなります。大寒の最終日は、季節の境目の「節分」の日となります。そして、大寒を過ぎると立春がやってきます。大寒の時期の水のことを「寒の水」といい、気温や湿度も低く雑菌も少ないため、生活の知恵としていろんな仕込みがされています。のし餅(寒餅)もその一つではないでしょうか…。

りは、暖かい日が訪れたりすることがあります。



生涯学習作品コーナー



育英小6年 大谷梓紗



須佐中2年 谷本那智

【絵のコーナー】

(令和5年度 須佐美術展より)

共白髪ペンギン歩きの散歩道

(山根丁東) ゆめはるか

【川柳】

デジタル化されてテレビのリモコンが
複雑になり老はとまどう

(青葉台) 田村雅利

【短歌】

冬嵐まばゆい光のイルミネーション

(入江) 緒方恵美子

足伸ばしこたつの中で争奪戦

(田万川) 土井亜紀



【俳句】

須佐の偉人伝 大塚均

82

このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。

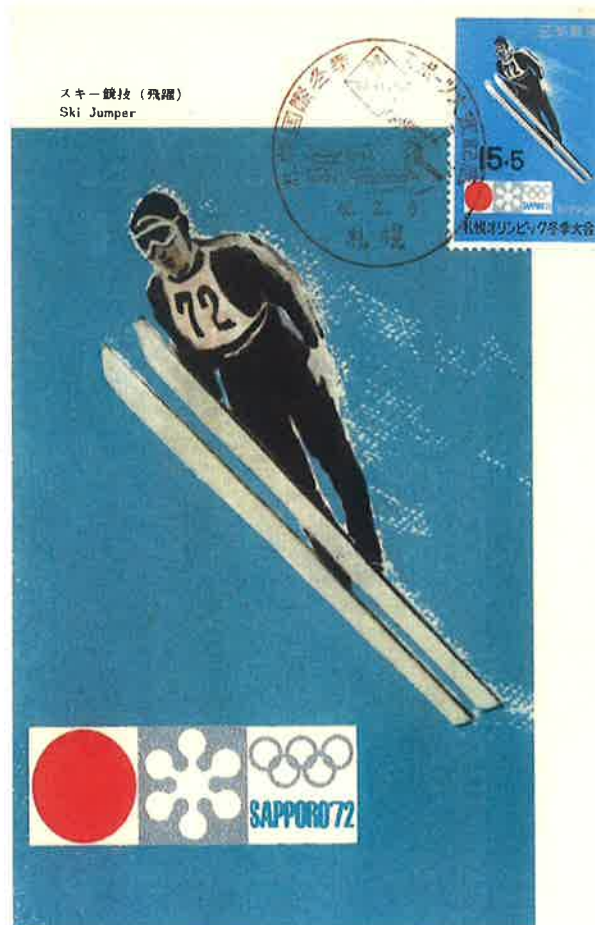


大塚 均 (1911-1998)

札幌オリンピック冬季大会寄付
金付き郵便切手

札幌冬季オリンピックでは、アジアおよび有色人種圏における史上初の冬季オリンピックで、昭和47年2月札幌市で開催された。この切手は、第11回冬季オリンピック大会の準備運営基金調達に協力するため、寄付金付き郵便切手30円2種類が昭和48年2月5日発行された。

大塚均62歳時の作品です。



2024		1月 地域カレンダー		須=須佐公民館	弥=弥富公民館	◎=生き活き教室
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	① 元日 	2 ■二十歳のついで (萩市民館) ←公民館休み→	3 	4 公務始め	5	6 
7 ■消防出初式 11:00	⑧ 成人の日	09 須 パッチサークル ◎エコクラブ 9:30 学 小・中学校始業式	10 ◎ついで会 9:30 須 色えんぴつ画 13:30	11 	12 ◎手芸クラブ 9:30	13 ■弥富どんと焼き 9:30
14 ■ニュースポーツ研修会 10:00	15 ◎麻雀クラブ 13:00 ◎ピンポンクラブ 13:30	16 	17 ◎歩こう会 8:45 学 育英小参観日	18 ◎生き活き体操 8:45 須 さつき学級 9:30	19 ■人権・行政相談(須佐)	20
21 家庭の日	22 弥 さつき学級 ◎エコクラブ 9:30 ◎麻雀クラブ 13:00 ◎ピンポンクラブ 13:30	23 須 パッチサークル 9:30	24 須 色えんぴつ画 9:30 ◎音楽療法 13:30	25 	26 弥 クラウドクラブ発表会 9:30 ◎手芸クラブ 9:30 ◎囲碁・将棋 13:30 学 須佐保お正月遊びの会	27
28	29 ◎麻雀クラブ 13:00 ◎ピンポンクラブ 13:30	30 ■心配ごと相談 (保険センター)	31 			

● 三字熟語は
いろいろ
囲炉裏 でした

★クイズのこたえ

① 炉 ② 裏 ③ 囲

● 弥富さつき学級
「防火講習会」

○と き 1月22日(月)
午前9時30分から

○と ころ 弥富交流促進センター
萩市消防本部
予防課 職員

○申込み 1月15日(月)までに
弥富公民館 ⑧ 2044へ



※12ヶ月分のカレンダーを1枚
ずつ、折り紙を使って作ります。
○申込み 須佐公民館 ⑥ 23
10へ(★1日來れる方を対象
とします。)

● 須佐さつき学級
「2024年度
オリジナルカレンダー作り」

○と き 1月18日(木)
午前9時30分
午後3時30分

○と ころ 須佐公民館
材料費500円
はさみ、のり

伝言板



毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は「21日」です
★家族みんなで過ごしましょう！

須佐地域の人口 (R5.11月末現在)

	世帯数	人口	前月比
須佐	953戸	1,714人	(△5人)
弥富	220戸	406人	(△1人)
合計	1,173戸	2,120人	(△6人)

昨年比 世帯数△33人 人数△98人

● 編集後記

年頭を飾る表紙は、元気な子ども達が走る、みことマラソン大会を予定していましたが、インフルエンザの流行により中止となり、次は神社の前で、放課後の子ども達が集う写真をと考えましたが、これもインフルエンザで子ども達が集まらず断念。しめ飾り教室は広報締め切り後の行事となり、またまた断念。

そんな折、館長が提示したのが指定文化財の「龍図」でした。今年「辰年」。出世や権力に大きく関わる年とも言われています。皆さんも良い年に恵まれますよう祈念いたします。

